

<b>【1】 スタートアップニュース</b> .....	1
アルジェリア .....	1
チュニジア .....	1
モロッコ .....	2
エジプト .....	2
ケニア .....	3
ナイジェリア .....	4
コートジボワール .....	5
エチオピア .....	5
<b>【2】 TIPS- 2020-21 年第 2 四半期、注目のレポートやイベント</b> .....	6
Techpoint Africa 発表の「西アフリカスタートアップ 10 年レポート 2010 - 2019」(2020 年 10 月発表) .....	6
Disrupt Africa が「Finnovating for Africa 2021」を発表 (2021 年 6 月 30 日) .....	6
<b>【3】 さらなる情報をお求めの方へ!</b> .....	7
◆東アフリカニュース .....	7
◆ジェトロ『中東アフリカ News』 .....	7
◆スタートアップニュースバックナンバー .....	7

## 【著作権・免責】

「JETRO STARTUP NEWS」の著作権はジェトロに帰属します。本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断り致します。ジェトロはご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等の正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行なってください。本文を通じて皆様に提供した情報の利用(本文中からリンクされている Web サイトの利用を含みます)により、不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロはその責任を負いかねます。

【問合せ先】最寄りの以下、ジェトロ・アフリカ事務所までお願いします。

カイロ事務所(エジプト)、ラバト事務所(モロッコ)、アディスアベバ事務所(エチオピア)、ナイロビ事務所(ケニア)、ラゴス事務所(ナイジェリア)、アビジャン事務所(コートジボワール)、ヨハネスブルク事務所(南アフリカ共和国)

# JETRO STARTUP NEWS 2021年7月

## 【1】スタートアップニュース

アフリカ各事務所が収集したスタートアップニュースを要約してお伝えします。

### アルジェリア

報告：パリ事務所 グルニエ

○ライドシェア事業を展開しているアルジェリア・スタートアップ **TemTem** 社はアルジェ出身サッカー選手イسلام・スリマニ氏とスポンサーシップ契約を締結した。同社が開発したアプリ「**Tem Tem One**」の展開を加速することが狙い。同アプリは海外在住アルジェリア人を対象に、アルジェリア国内にいる家族などに食料品、洋服、電化製品などを届けるサービスを提供。※参考：6月16日付 [Algerie Focus](#)

○製造業者やフォワーダーと運送会社をつなぎ、物流コストをシェアリングで合理化できるオンライン・デジタル・プラットフォームを開発したアルジェリア・スタートアップ **Opticharge** 社は、GPSの測位情報及び遠隔管理システム事業を展開しているアルジェリア **Ubik Systems** 社と、国内の貨物トラッキング情報管理システムの開発に関する合意書を締結したと発表。貨物の温度管理情報、トラック運転手の運転時間、ブレーキ情報など、各種情報の記録により、サプライチェーン状況をリアルタイムで管理することができる。※参考：6月21日付 [APS 通信](#)

### チュニジア

報告：パリ事務所 渡辺

○情報技術省の支援の下、企業のデジタル化やスタートアップを推進する「スマート・チュニジア」が指導し、チュニジア初のデジタル・イノベーション・ハブ「**The Dot**」が7月11日に開設。開設式には首相、関係省庁の大臣、スマートチュニジア代表、及び融資を行うドイツ開発庁チュニジア代表・仏技術開発庁 (**Expertise France**) 代表などが参加。若い起業家、スタートアップにとって情報交換、コワーキングの場となるとともに、企業のデジタル化の支援も行う。※参考：6月14日付 [ilBoursa](#)

○世銀グループの国際金融公社 (**IFC**) は6月3日、北アフリカのアルジェリア、リビア、モロッコ、チュニジアのスタートアップ・エコシステム支援のための「スタート・マグレブ」プロジェクトを開始。4ヵ国で活動するスタートアップの地域協力と雇用創出を助ける。※参考：6月3日付 [ilBoursa](#)

○EUの融資の下、アクセレレーター **Flat6Labs** が仏技術開発庁 (**Expertise France**) と共に **Innov' i** 計画の枠内で新プロジェクト「**Ignite Tunisia**」を開始。スタートアップ支援施設の90%が首都チュニスに集中する中、同プロジェクトは **Flat6Labs** が数年に渡って **MENA** 地域で培ってきたスタートアップ支援プログラムの実施経験をチュニジアの地方のスタートアップ・エコシステムで生かし、地方のエコシステムの活性化を目指す。※参考：6月1日付 [ilBoursa](#)

○農業およびアグリフードのバリューチェーンの関係者を対象とした技術支援、コンサルティング、能力開発プロジェクトを実施する農業省認可の民間コンサルティング会社 **ステシア・インターナショナル** が立ち上げた「**アグリテック・チュニジア**」プロジェクトの応募が6月28日から7月28日

まで実施される。西アフリカでの事業を希望するアグリテックのチュニジアスタートアップ 5 社を選出し、西アフリカ市場へのアクセス、スタートアップと同地域の農業会社とのパートナーシップ構築をサポートし、自然資源のより良い管理を確保しながら、対象国の農業生産性の向上に貢献することを目的としている。セネガルが最初の対象国となる。※参考：6月29日付チュニジア政府系通信社 TAP

○第10回オレンジ・サマーチャレンジ2020のデジタル・アワードで、デジタルスポーツコーチによる自宅でのユニークなプライベートセッション体験を提供するソリューション ODACO が最優秀賞を受賞。続いて、自閉症の子供たちが日常のタスクに適応し、外界との対話に役立つインテリジェントコンパニオン Ubo が2位を獲得。※参考：7月4日付チュニジア政府系通信社 TAP

## モロッコ

報告：ラバト事務所 石橋

○100%モロッコ製の効率的なスマート照明を目指すスタートアップ「Light'inMaroc」が誕生した。このプロジェクトの目的は LED ランプの製造ユニットを設置することである。革新的なプロジェクトであり、また前例のない官民パートナーシップの結果である「Light'inMaroc」は、新技術の活用により公共照明におけるエネルギー消費を最適化する。※参考：[6月26日付 L'opinion](#)

○Chari は B2B における e コマースのアプリケーションであり、モロッコ国内の小売店に対しその店舗で販売された商品を 24 時間以内に配達することにより、小売店が常に在庫を確保できる状態にする。このスタートアップ Chari がチュニジアまで活動を拡大する旨を発表した。この活動拡大は Chari がスタートアップの支援組織 Plug and Play より資金提供を受けたことに起因している。※参考：[6月11日付 Le Matin](#)

## エジプト

報告：カイロ事務所 執筆・Reem 編集・井澤

○2019年起業のトラック配送システム「Trella」は、シリーズAラウンドで物流大手マースクや複数のVC等から4,200万ドルを調達した。金額には1,200万ドルの融資も含まれる。現在、エジプトではコカ・コーラ、マースク、モンディ、ヘンケル、オラスコム、セメックス等の国際企業を含む約350社が利用している。サウジアラビアやパキスタンでもサービスを開始。

○2018年起業のB2Bのeコマース「Maxab」は、RMBVが主導するシリーズAラウンドで4,000万ドルを調達し、エジプト全域と中東地域への拡大を計画する。新しいサプライチェーンや金融サービスも拡張する予定。現地の伝統的商流が複雑な中、同社は小売店向けの簡単なアプリで食品等を一括で供給を可能にする。現在、約5万5千の小売店等が利用。

○2020年起業のB2Bのeコマース「Fatura」は、事業拡大のために「Sawari Ventures」と「Arzan Venture Capital」が共同で主導するプレシリーズAで300万ドルを調達した。同社は、FMCG製造者と卸業者の商材を、モバイルアプリを通じて食料品店や小売業者に販売している。前述MaxABと主要な取り扱い商材は異なるものの、ビジネスモデルは競合。

○2021年起業のeコマース「Tejarra」は、事業を拡大するために、米国VCなどから数十万ドルのシード出資を受けた。「Tejarra」は、50社以上の卸売業者に対し、家電や電子機器用のB2B・B2Cのオンライン・マーケットプレイスを提供している。

○2019年起業のファッションとライフスタイルのeコマース「[Dress Code](#)」は、サービス提供を拡大するために25万ドルの資金を確保した。同社は、ファッションブランドやデザイナーが製品を販売するためのプラットフォームを提供する

○2017年起業の自動車用部品のeコマース「[Odiggeo](#)」は、昨年、100万人のユーザーを記録し、エジプトの他にUAEにも拡大した。ユーザーはアプリを通して、高品質の自動車部品やアクセサリを便利に購入できる。

○2020年起業の有名人からのビデオメッセージ購入プラットフォーム「[Minly](#)」は、複数のVCからシードラウンドで360万ドルを調達した。同社のプラットフォームでは、中東・北アフリカ地域における、TV・SNS・音楽・スポーツ等で有名な数百人から、個別のファン向けにパーソナライズされたビデオメッセージをファンが購入することができる。

○2020年起業のフィンテック「[Money Hash](#)」は、「COTU Ventures」が主導するプレシード出資を受けた（金額非公表）。同社は、各種のフィンテックソリューションを集約する、支払い用のAPIを構築している。

○2018年起業のエドテック「[iSchool](#)」は、教育プラットフォームを開発しており、中東・北アフリカ地域に拡大するために、プレシードの資金で16万ドルを調達した。起業以来、6カ国7,500人以上の6歳～18歳の学生に対して、トレーニングを提供した。

○2018年起業の移動追跡アプリ「[Tareeqi](#)」は、オマーンのデジタル輸送追跡・スタートアップ「eMushrif」に買収された。「Tareeqi」はMENA地域の学校、大学と教育機関のバスを高価なGPSデバイスをインストールせずに追跡を可能とするエジプト発アプリである。

参考：<https://disrupt-africa.com/?s=egypt>、<https://www.menabytes.com/?s=egypt>

## ケニア

報告：ナイロビ事務所 久保

○ケニア発のSaaSプラットフォームのSky GardenがシリーズAとなる400万米ドルを調達。投資家にはSANAD Fund for MSME、インド系のAavishkaar、日系のUNCOVERED FUND、KSK Angel Fund、サッカー選手の本田圭佑が名を連ねた。※参考：6月14日 Disrupt Africa <https://disrupt-africa.com/2021/06/14/kenyan-e-commerce-startup-sky-garden-raises-4m-series-a-funding-round/>

○ケニア初の[Ed Partners Africa](#)がアキュメン、I&P、Zephyr、既存投資家から190万米ドルを調達。資金難で苦しむ私立学校にノン・バンク・ファイナンスを提供する。これまで150万ドルを142校に提供。合計41,000人の生徒をカバーしてきた。新たな資金は、学校教育の質改善に充てられる見込み。※参考：[6月24日付 Disrupt Africa](#)

○ケニアの農業テック[Apollo Agriculture](#)がABCファンドから100万ドルのデット・ファイナンス（社債発行による資金調達）を行った。同社は小規模農家に、機械や製品の情報、金融サービスや保険を提供するプラットフォームを提供。2020年には600万ドルとなるシリーズAの資金調達を行い、顧客基盤を拡大した。今回の社債発行を通じて、農業ビジネスのバリューチェーンの中でより利益性の高いセグメントへのアプローチを目指す。※参考：[6月22日付 Disrupt Africa](#)

○遠隔医療関連のローカル・スタートアップが資金調達に苦労している。ヘルステックの多くは外

資系企業から資金調達。新型コロナウイルス拡大の影響もあり、外国人投資家との接点が少ないローカル・スタートアップは投資家と接点を持たずにいる。現在遠隔医療や医療系 E コマースで調達を伸ばしているコピア (Copia)、マイダワ (MyDawa)、マイシャ (Maisha Meds) などは外国人が経営。※参考：[5月31日 Business Daily 紙](#)

## ナイジェリア

報告：ラゴス事務所 馬場

○ヘルステックの [CribMD](#) は、米国のアクセラレーターSputnik ATX と The Guardian Nigerian から、シードラウンドで 260 万ドルを調達した。同サービスは「医師の Uber」として、手頃な価格で資格を有する医師を 24 時間年中無休で自宅に派遣するもの。現在、2,8000 人の加入者がおり、プラットフォームにはすでに 5,000 人を超える医師が登録されており、毎月の経常収益は 75,000 ドルとされる。今回の調達資金は製品管理、採用、マーケティングに活用され、事業拡大を目指す。また、今後 2 年以内にアフリカの他地域への展開を予定している。※参考：[Disrupt Africa 6月1日](#)

○不動産テックの [Seso Global](#) が、Kepple Africa Ventures、Rising Tide Africa、Moabi Group のほか、エンジェル投資家の Albert Essien、Ibrahim Sanga、Jamie Broderick より、プレシードラウンドで 60 万ドルを調達した。同社は不動産登記の公的サービスが不十分なナイジェリアにおいて、ブロックチェーンを用いて不動産デベロッパー等が不動産・文書・取引を管理するための顧客管理ポータルや、クライアントが不動産情報を閲覧し、法律事務所・銀行等とやり取りできるマーケットプレイスを構築・運用している。同スタートアップはナイジェリアの他、アフリカでは南アフリカ・ガーナでも事業を展開しており、今回の資金調達をきっかけに 3 つの市場での事業拡大とアフリカ全土のデベロッパーに対する顧客管理プラットフォームの展開を目指す。※参考：[Disrupt Africa 6月16日](#)

○西アフリカで広く利用されている電子医療記録のプロバイダーである [Helium Health](#) は、Philips Healthcare Technologies を含む 3 つのローカルプロバイダーと提携し、ケニアにサービスを拡大した。同社は 2020 年 5 月にグローバルベンチャーズと Asia Africa Investment & Consulting (AAIC) が主導するシリーズ A ラウンドで 1,000 万ドルを資金調達した。※参考：[Disrupt Africa 6月17日](#)

○第 6 回 Google for Startups Accelerator Africa のオンラインアクセラレータプログラムに 15 社が選定された。うち、ナイジェリアから 6 社が選定された。選定されたのは、真贋判定ツールの運営を手掛けるスタートアップの [Chekkit](#)、緊急医療サービスのサブスクリプションを提供する [Emergency Response Africa](#)、在宅ケアのサブスクリプションを提供する [GeroCare](#)、メンタルヘルスサービスを提供する [Nguvu Health](#)、オンライン薬局を運用する [OneHealth](#)、および医療資金調達プラットフォームを運用する [Vittas International](#)。※参考：[Disrupt Africa 6月21日](#)

○Startup Blink による「Global Startup Ecosystem Index」における 100 か国 1000 都市のランキングにおいて、ラゴスが 122 位にランク付けされた。ケニアのナイロビは 137 位だった。2,100 万人と言われる人口から、大きな課題を大規模に解決するのにイノベーションが不可欠であることが、成長の要因だと考えられる。ラゴスのみでナイジェリアの国内総生産の約 30%を占め、1,360 億ドル超の経済規模はコートジボワールやケニアといった一国の経済規模を上回っている。ラゴスは、

パンデミック下で自然とデジタル化が加速したこともあり、E コマースおよび小売分野のテックで世界のトップ 50 都市に、トランスポートテクノロジーとエドテックで世界のトップ 100 都市に位置付けられることとなった。イバダンもランキングが大幅に上昇した都市の一つで、首都アブジャを超えて、世界ランキングで 353 位に位置付けられた。アブジャは同 466 位、ポートハーコートが同 906 位、エヌグが同 978 位、ベニンシティが同 979 位、カノが同 981 位となり、ナイジェリア全体で 7 つの都市がランクインした。 ※参考： [Business Day 6 月 21 日](#)

○クラシファイド（個人同士の売買揭示）大手の Jiji は、中古車売買のオンラインプラットフォームを運営する Cars45 を非公開の金額で買収した。車両の売買は不動産に次いで Jiji で 2 番目に人気のあるカテゴリーであり、この買収により Jiji の地位が強化されることが予想される。また、Cars45 の多数の検査センターのネットワークにより、Jiji にて売買される車両の適切な評価が可能になる。

※参考： [Techpoint Africa 6 月 28 日](#)

## コートジボワール

報告：アビジャン事務所 渡辺

○金融包摂に関する国際的なコンサルティング会社 MicroSave Consulting は、「セネガルとコートジボワールのスタートアップ環境」をテーマとしたウェビナーを開催。パネリストは、ビジネスを成長させるためのカギとして市場および投資家のターゲティングの重要性を指摘した。コートジボワールやセネガルなどフランス語圏アフリカ諸国のスタートアップに対する投資金額は近年、増加してきているが、英語圏アフリカ諸国に比べると未だ少ないという。コートジボワール、セネガル、ベナン、トーゴ、マリなどフランス語圏のいくつかの政府は、スタートアップが直面している課題に対処しようとスタートアップ法やファンド創設、支援プラットフォーム設置などを検討している。

※参考：6 月 24 日 Agence ecofin

○フランスの通信企業 Orange のコートジボワール子会社 Orange Côte d'Ivoire は、スタートアップ向けセミナーを開催し、ベンチャーキャピタル部門 Orange Ventures が立ち上げた投資プログラムを発表した。Orange Ventures は、Orange が通信事業を展開している国のスタートアップへの投資に注力しており、投資対象にはコネクティビティ、サイバーセキュリティ、フィンテック、eヘルスなど多くの分野が含まれている。シードステージからシリーズ A または B までのスタートアップに投資する傾向にあり、3 億 5,000 万ユーロの資金規模を持つ。

※参考：7 月 5 日 Agence ecofin

○コートジボワールやセネガルなど西アフリカを中心にデジタル決済サービス事業を展開するセネガルのスタートアップ InTouch は、豊田通商とそのグループ会社である CFAO が設立した Mobility 54 から 500 万ユーロの出資を受けたことを発表した。また、InTouch の既存株主であり、戦略的パートナーであるフランス大手のエネルギー会社 TOTAL Energies と、フランス大手のデジタル決済会社 Worldline も追加投資を行うことを決定している。

※参考：7 月 6 日 Agence ecofin/7 月 7 日豊田通商株式会社プレスリリース

## エチオピア

報告：アディスアベバ事務所 関

○「Little Technologies SC」が 6 月 10 日に配車サービス「Little Mekina」を開始。資本金は 1 億

4,000 万ブル。ケニア企業「Little Cab」の基盤を活用。同基盤はケニア、タンザニア、ウガンダ、ザンビアで利用されている。配車登録は 500 台。順次、レンタカー、携帯利用料の入金、公共料金支払いなどを始めてスーパーアプリにする。※参考：Reporter 紙 6 月 12 日 p6

○配送サービス「Eshi Express」がアディスアベバ・エンジェル投資家ネットワークから出資を受ける。※参考：Capital 紙 6 月 13 日 p14

○StartupBlink による「世界スタートアップエコシステム指標（Global Startup Ecosysteme Index）」でエチオピアが上位 100 カ国に入った。エチオピアの特徴は在外エチオピア人が戻って果たす役割が大きいこと。革新技術省は 2020 年に国家スタートアップ評議会を設置するスタートアップ法（Startup Act）を制定済み。※参考：Capital 紙 6 月 27 日 p3

---

## 【2】TIPS- 2020-21 年第 2 四半期、注目のレポートやイベント

---

あっという間に上半期が終わりました。これまでご紹介していなかったレポートや、第 2 四半期中に発表となったデータ集をご紹介します。情報収集にご活用ください。(文・ラゴス事務所 馬場)

### Techpoint Africa 発表の「西アフリカスタートアップ 10 年レポート 2010-2019」(2020 年 10 月発表)

購入（日本語版）は[こちら](#)のページを参照

アフリカのスタートアップ最新情報を展開する Techpoint Africa が、2010 年から 2019 年の間に合計で 100 万ドル以上の資金調達を達成した西アフリカのスタートアップを対象としたレポートをまとめました。主な対象国は、ナイジェリア、ガーナ、ベナン、トーゴ、セネガル、コートジボワールです。西アフリカのスタートアップの資金調達や注目される企業、各国のエコシステムやファウンダーの特徴、投資家に関する分析を掲載しています。当レポートの日本語版は、グローバルスタートアップ情報データベースである SUNRYSE. により翻訳・販売されています。

### Disrupt Africa が Finnovating for Africa 2021 を発表（2021 年 6 月 30 日）

購入・ダウンロードは Disrupt Africa の[こちら](#)のページをご参考

アフリカのスタートアップ最新情報を展開する Disrupt Africa が、アフリカのフィンテックエコシステムを報告書にまとめ、公表しました。2021 年版はアフリカ全土の 576 のフィンテックスタートアップのデータをもとに作成され、無料で入手が可能です。レポートには 576 社のスタートアップのリストが含まれているほか、国やカテゴリー毎のデータ、資金調達の動向などについて記載されています。

---

### 【3】さらなる情報をお求めの方へ！

---

#### ◆東アフリカニュース

発行：ナイロビ事務所（幹事）

頻度：月1回

「スタートアップニュース」（本誌）とともに、「東アフリカニュースダイジェスト」（主要紙クリッピング）、ジェトロビジネス短信や最新調査レポートを抽出してお届けします。無料のメルマガです。

○登録方法：こちらより登録ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ken/newsregistration>

#### ◆ジェトロ『中東アフリカ News』

発行：東京本部海外調査部 中東アフリカ課

頻度：週1回

以下ウェブページ等で発信しております地域全体の新着ニュース・レポート等の新着情報を中心にお届けしています。

- ・ビジネス短信：アフリカ

<https://www.jetro.go.jp/biznewstop/biznews/africa/>

- ・調査レポート：アフリカ

<https://www.jetro.go.jp/reportstop/africa/reports/>

○登録方法：こちらより登録ください。

<https://www.jetro.go.jp/mreg2/magRegist/input.htm>

#### ◆スタートアップニュースバックナンバー

**2021 年**

6月号（31<sup>st</sup> issue）

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2106jetrostartupnews.pdf>

5月号（30<sup>th</sup> issue）

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2105jetrostartupnews.pdf>

4月号（29<sup>th</sup> issue）

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2104%20jetrostartupnews.pdf>

3月号（28<sup>th</sup> issue）

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2103jetrostartupnews.pdf>

2月号（27<sup>th</sup> issue）

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2102jetrostartupnews.pdf>

**2020 年**

12月号（26<sup>th</sup> issue）

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2012jetrostartupnews.pdf>



11月号 (25<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2011jetrostartupnews.pdf>

10月号 (24<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2010jetrostartupnews.pdf>

9月号 (23<sup>rd</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2009jetrostartupnews.pdf>

8月号 (22<sup>nd</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2008jetrostartupnews.pdf>

7月号 (21<sup>st</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2007jetrostartupnews.pdf>

6月号 (20<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2006jetrostartupnews.pdf>

5月号(19<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2005jetrostartupnews.pdf>

4月号(18<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2004jetrostartupnews.pdf>

3月号(17<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2003jetrostartupnews.pdf>

2月号(16<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2002jetrostartupnews.pdf>

1月号(15<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2001jetrostartupnews.pdf>

**2019年**

12月号(14<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1911jetrostartupnews.pdf>

11月号(13<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1911jetrostartupnews.pdf>

10月号(12<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1910jetrostartupnews.pdf>

9月号(11<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1909jetrostartupnews.pdf>

8月号(10<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1908jetrostartupnews.pdf>

7月号(9<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1907jetrostartupnews.pdf>

6月号(8<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1906jetrostartupnews.pdf>

5月号(7<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1905jetrostartupnews.pdf>

4月号(6<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1904jetrostartupnews.pdf>

3月号(5<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1903jetrostartupnews.pdf>

2月号(4<sup>th</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1902jetrostartupnews.pdf>

1月号(3<sup>rd</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1901jetrostartupnews.pdf>

**2018年**

12月号(2<sup>nd</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1812jetrostartupnews.pdf>

11月号(1<sup>st</sup> issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1811jetrostartupnews.pdf>

※本誌へのご意見、ご要望がありましたら、ジェトロナイロビ事務所 ([KEN@jetor.go.jp](mailto:KEN@jetor.go.jp)) へご連絡ください。